

地方創生加速化交付金・地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

都道府県名	福島県	担当部局課名	総務課
市町村名	塙町	担当者氏名	薄井和憲
都道府県・市町村コード(5桁)	07483	連絡先	電話
			メールアドレス

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 上段:事業費 下段:交付額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 令和元年(平成31年)度末における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値 H30からの増減	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	広域連携事業 農業の新たな「風」によるしごとづくりプロジェクト ダリア切花の広域的な産地化支援事業 はなわのきのこ生産体制・ブランド化支援事業	地方創生 推進交付金	8,532,919	指標①	ダリアの出荷額	2,000万円増加	円	2022年3月末	前年度比+800千円	ダリアに関しては、国内市場価格が低迷したが、平成30年から開始した海外への輸出が順調に推移した影響で、出荷額は前年度より若干ではあるが増加した。これまでは、多品種・小規模栽培に取り組んできたが、流通量の少ない品種等を除外して栽培品種を絞り、生産コスト削減に取り組み、利益の向上を図っていききたい。	総合戦略のKPI達成に有効であった	台風19号や新型コロナウイルスの影響もあり、厳しい状況の中、微増ながら、事業効果はある程度得られていると評価できる。キノコについては、方向性が見えない。担い手の確保、生産者の高齢化については、引き続き取り組みの強化を期待したい。	事業の継続	・生産体制の強化 ・担い手の確保 ・生産量の安定化と、加工、調理方法の研究と確立 ・内外へのPRを継続
				指標②	中高年層、子育て世代の女性の新規就農者数	+10人	人	2022年3月末	1人増					
			指標③	人材の確保(地域おこし協力隊)	3人確保	人	2022年3月末	1人減						
			指標④											
2	未利用資源(竹)を活用したオリジナルブランド化事業	地方創生 推進交付金	27,092,886	指標①	竹パウダー利用生産農家数	2016年末+50	人	2020年3月末	25名減	竹パウダー農法に取り組む農家数は、新規参入者が7人増える一方で、取りやめる農家も多く、最終的には総数42となった。事業開始時は50人が取り組んでいたため、3年間のトータルで8人が減少したことによる。	総合戦略のKPI達成に有効であった	台風19号や新型コロナウイルスの影響もあり、厳しい状況の中、KPI未達成となった点は止むを得ないものでは、竹の伐採と活用という観点では良かったので、事業効果はある程度得られていると評価できる。竹パウダーの周知、活用方法の拡大など、これまでの知見を活かして引き続き取り組んでほしい。	予定通り事業終了	・拠点施設を活用した農法の普及、6次化商品開発を進める ・拠点施設を活用し、交流人口増とは☆竹まる農産物のPRを行う ・ペットボトル米の販売実現に向けた調整等を進める
				指標②	中高年・子育て世代の女性の新規生産者	2016年末+10	人	2020年3月末	減なし(現在1件)					
			指標③	道の駅(道の駅「アネックス」(道の駅「アネックス」)の活用)	年末+3,000万円	円	2020年3月末	前年比-12,843千円						
			指標④	企業連携	2016年末+5	件	2020年3月末	増減なし(現在1件)						

各事業の評価等を踏まえた地方版総合戦略の見直しの有無

見直しを行わない
地方版総合戦略を見直した場合はその内容、見直しを行わないこととした場合はその理由
総合戦略については、令和2年度が最終年度となっており、現在次期戦略については、長期総合計画と一体的に策定する方向で進めている。このため、戦略の期間を1年延長する。